

番 号 : 150036

国 名 : セネガル

担当部署 : 人間開発部基礎教育グループ基礎教育第二チーム

案件名 : 理数科教育改善プロジェクトフェーズ2終了時評価調査(評価分析)

1. 担当業務、格付等

- (1) 担当業務 : 評価分析
- (2) 格 付 : 3号~4号
- (3) 業務の種類 : 調査団参团

2. 契約予定期間等

- (1) 全体期間 : 2015年4月上旬から2015年6月中旬まで
- (2) 業務M/M : 国内 0.50M/M、現地 0.87M/M、合計 1.37M/M
- (3) 業務日数 :

準備期間	現地調査期間	整理期間
5日	26日	5日

3. 簡易プロポーザル等提出部数、期限、方法

- (1) 簡易プロポーザル提出部数 : 1部
- (2) 見積書提出部数 : 1部
- (3) 提出期限 : 3月11日(12時まで)
- (4) 提出方法 : 専用アドレス (e-propo@jica.go.jp) への電子データの提出又は、
郵送(102-8012 東京都千代田区二番町5番地25二番町センタービル)
(いずれも提出期限時刻必着)

※2014年2月26日以降の業務実施契約(単独型) 公示案件(再公示含む)より、電子媒体による簡易プロポーザルの提出を本格導入しています。

提出方法等詳細についてはJICAホームページ(ホーム>JICAについて>調達情報>お知らせ>「コンサルタント等契約における業務実施契約(単独型)簡易プロポーザルの電子提出本格導入について」(http://www.jica.go.jp/announce/information/20140204_02.html))をご覧ください。なお、JICA本部1階調達部受付での受領は廃止しておりますので、ご持参いただいても受領致しかねます。ご留意ください。

4. 簡易プロポーザル評価項目及び配点

- (1) 業務の実施方針等 :
 - ①業務実施の基本方針 8点
 - ②業務実施上のバックアップ体制等 2点
- (2) 業務従事者の経験能力 :
 - ①類似業務の経験 45点
 - ②対象国又は同類似地域での業務経験 9点
 - ③語学力 18点
 - ④その他学位、資格等 18点

(計100点)

類似業務	各種評価調査
対象国/類似地域	セネガル/全途上国
語学の種類	英語

5. 条件等

- (1) 参加資格のない社等 :
本調査の対象である技術協力プロジェクトにおいて専門家業務に携わった法人及び個人は本件への参加を認めない。
- (2) 必要予防接種 :
黄熱 : 入国に際してイエローカード(黄熱病予防接種証明書)の提示が必要です。

6. 業務の背景

セネガルでは、2009年の初等教育の総就学率が92.5%に達していたものの、2009年の初等教育修了資格試験（CFEE）の合格率が60.8%に留まっており、また2011年の初等教育修了率は66.5%であったことから、基礎教育の質の改善が解決すべき喫緊の課題として認識されていた。しかしながら国際的な学力調査「教育システム分析プログラム（PASEC）」では、1996年と2006年の結果に変化が現れておらず、同調査においては過去10年間の学力の変化は認められていなかった。

他方、急激な児童数の増加により教員の不足が問題となっていたため、セネガル政府は教員数の増加を目的に1995年からボランティア教員制度を導入し、さらに教員養成の期間を4年から約6か月に短縮することで解決を試みた結果、十分な教科知識や指導技術を持たない教員が授業を行う状況を生み出し、授業の質の低下が新たな問題となっていた。

上記を踏まえ、JICAは2007年12月から2011年8月まで、現職教員研修の一つであるクラスター研修の質の向上を目的に「理数科教育改善プロジェクト（以下、フェーズ1）」を3州に対して実施した。その成果として、教員のクラスター研修参加率の上昇（79%）、教師の教授法改善、修了資格試験合格率の向上等が確認された一方、他の11州ではフェーズ1で導入した州研修と県研修の実施を通じた県トレーナー（クラスター代表）の育成、および全14州を対象にした校内研修を通じた授業の質の改善が新たな課題として提示された。

フェーズ1の課題を背景に、JICAは、2011年9月から「理数科教育改善プロジェクトフェーズ2（以下、フェーズ2）」を開始し、フェーズ1で得られた成果を全州・地域に普及する取り組みを行うとともに、学校現場での実践を強化するためにグループワーク強化活動や校長研修を通じた授業研究の質の向上・定着などの新しい活動にも取り組んでいる。2013年12月に実施した中間レビュー調査では、フェーズ2の研修モデルがセネガルの既存の現職教員研修制度に組み込まれたこと、また一部の教員に対しては指導力の向上が確認されるなど一定の成果が確認された。しかしながら、量的な側面においては2015年3月にエンドライン調査の実施が予定されており、中間レビュー調査では十分な確認はできていない。

今回実施の終了時評価は、2015年8月のプロジェクト終了を控え、プロジェクト活動の実績や成果を確認するとともに、新規プロジェクトに対する提言や類似事業の実施に当たっての教訓を導くことを目的とする。

7. 業務の内容

本業務従事者は、技術協力プロジェクトの仕組み及び手続を十分に把握の上、プロジェクトの協力について当初計画と活動実績、計画達成状況、評価5項目（妥当性、有効性、効率性、インパクト、持続性）を確認するために、必要なデータ・情報を収集・整理し、分析する。なお、JICA事業評価における評価基準・手続きについては監督職員より情報提供を行う。

具体的担当事項は次のとおりとする。

（1）国内準備期間（2015年4月上旬～中旬）

ア フェーズ1プロジェクトを含む既存の文献・報告書等（事業進捗報告書、業務完了報告書、合同調整委員会議事録、専門家報告書、活動実績資料、エンドライン調査報告書案等）をレビューし、プロジェクトの実績（投入、活動、アウトプット、プロジェクト目標達成度等）・実施プロセスを整理・分析する。

イ 既存のPDMに基づき、プロジェクトの実績、実施プロセス及び評価5項目ごとの調査項目とデータ収集方法、調査方法等を検討し評価グリッド（案）（和文・英文）を作成する。また、既存のデータ・情報と現地で入手・検証すべき情報を整理する。

ウ 評価グリッド（案）に基づき、プロジェクト関係者（プロジェクト専門家、C/P機関、その他セネガル側関係機関、他ドナー等）に対する質問票（案）（英文）を作成する。

エ 調査団内の検討のため、評価グリッド（案）を用いて評価デザイン（案）（和文・英文）を検討する。

オ 国内で収集可能なデータを整理・分析し、それらの現時点の既存情報に基づき、評価の記入作業を予備的に行う。

カ 他の主要ドナーの動向（中期計画、実施中案件の内容及び進捗等）を情報収集する。

キ 対処方針会議等に参加する。

(2) 現地派遣期間 (2015年4月下旬～5月中旬)

- ア JICAセネガル事務所等との打合せに参加する。
- イ プロジェクト関係者に対して、本終了時評価の評価手法について説明を行う。
- ウ セネガル側C/Pと協議した評価グリッドに基づき、事前に配布した質問票を回収・整理するとともにプロジェクト関係者に対するヒアリング等を行い、プロジェクト実績(投入、活動、アウトプット、プロジェクト目標達成度等)、実施プロセス等に関する情報・データの収集・整理を行う。
- エ 当該関連分野に関する他ドナーの動向、今後の方針について情報収集・整理する。
- オ 授業観察や教員研修を通して収集した情報・データを分析し、プロジェクト実績の貢献・阻害要因を抽出する。
- カ 国内準備作業並びに上記ウ～オで得られた結果をもとに、他団員及びセネガル側C/Pとともに評価5項目の観点から評価を行い、合同終了時評価報告書(案)(英文)の取りまとめに協力する。
- キ 調査結果や他団員及びセネガル側C/Pからのコメント等を踏まえた上で、PDM及びPOの修正案(英文)の取りまとめに協力する
- ク 合同終了時評価報告書(案)(英文)に関する協議に参加し、協議を踏まえて同案を修正し、最終版の作成に協力する。
- ケ 協議議事録(M/M)(英文)の作成に協力する。
- コ 担当分野に係る現地調査結果をJICAセネガル事務所等に報告する。

(3) 帰国後整理期間 (2015年5月下旬～6月上旬)

- ア 評価調査結果要約表(案)(和文・英文)の作成に協力する。
- イ 帰国報告会に出席し、担当分野に係る報告を行う。
- ウ 担当分野の調査結果を取りまとめ、終了時評価調査報告書(案)(和文)を作成するとともに、同報告書全体の取りまとめに協力する。

8. 成果品等

業務の実施過程で作成、提出する報告書等は以下のとおり。

なお、本契約にける成果品は(1)～(3)のすべてとする。

- (1) 合同終了時評価報告書(英文)
- (2) 担当分野に係る終了時評価調査報告書(案)(和文)
- (3) 評価調査結果要約表(案)(和文・英文)

上記(1)～(3)については、電子データをもって提出することとする。

9. 見積書作成に係る留意点

本公示にかかる見積書の積算を行うにあたっては、「JICAコンサルタント等契約における見積書作成ガイドライン」

(<http://www.jica.go.jp/announce/manual/guideline/consultant/quotation.html>)を参照願います。

留意点は以下のとおり。

- (1) 航空賃及び日当・宿泊料等
航空賃及び日当・宿泊料等は契約に含みます(見積書に計上して下さい)。
航空賃については、成田(羽田)⇄ドバイ⇄ダカール(標準)を想定します。
- (2) 直接人件費月額単価
直接人件費月額単価については、2015年度単価を上限とします。
(<http://www.jica.go.jp/announce/information/20150218.html>)

10. 特記事項

- (1) 業務日程／執務環境
 - ① 現地業務日程

本業務従事者の現地調査期間は2015年4月20日～5月15日を予定しています。本業務従事者は、当機構の調査団員に約1週間先行して現地調査の開始を予定しています。

②現地での業務体制

本業務に係る調査団構成は以下のとおりです。

- ア) 総括 (JICA)
- イ) 協力企画 (JICA)
- ウ) 評価分析 (コンサルタント)

本業務に係る現地プロジェクトチームの構成は、以下のとおりです (本業務の現地作業期間に派遣されている専門家のみ記載しています)。

- ・チーフアドバイザー (長期派遣専門家)
- ・業務調整/研修マネジメント (長期派遣専門家)

③便宜供与内容

当機構セネガル事務所による便宜供与事項は以下のとおりです。

- ア) 空港送迎
あり
- イ) 宿舍手配
あり
- ウ) 車両借上げ
必要な移動に係る車両の提供 (市外地域への移動を含む。)
- エ) 通訳備上
あり (必要に応じて)
- オ) 現地日程のアレンジ
機構がアレンジします。
- カ) 執務スペースの提供
なし

(2) 参考資料

本業務に関する以下の資料が当機構図書館のウェブサイト (<http://libopac.jica.go.jp/>) で公開されています。

① 閲覧資料

- ・プロジェクト概要 (<http://www.jica.go.jp/project/senegal/002/index.html>)
- ・基礎教育セクター情報収集・確認調査 国別基礎教育セクター分析報告書 (セネガル)
- ・理数科教育改善プロジェクトフェーズ2 実施協議報告書 (和文)
- ・理数科教育改善プロジェクト 終了時評価調査報告書 (和文)
- ・理数科教育改善プロジェクト 実施協議報告書 (和文)
- ・プロジェクト基本情報 (ナレッジサイトトップ>プロジェクト情報>スキーム別&国別一覧>プロジェクト基本情報)

<http://gwweb.jica.go.jp/km/ProjectView.nsf/11964ab4b26187f649256bf300087d03/c89e0779938e1022492578a40079ee74?OpenDocument>

② 配布資料

本業務に関する以下の資料を当機構人間開発部基礎教育グループ基礎教育第二チーム (TEL: 03-5226-8311) にて配布します。

- ・理数科教育改善プロジェクトフェーズ2 中間レビュー報告書 (ドラフト、和文)

(3) その他

①業務実施契約 (単独型) については、単独 (1名) の業務従事者の提案を求めている制度ですので、複数の業務従事者によるプロポーザルは無効とさせていただきます。

②セネガル国内での活動においては、JICA安全管理措置を遵守するとともに、JICA総務部安全管理室、JICAセネガル事務所の指示に従い、十分な安全対策措置を講じることとします。

③仏語で業務遂行する能力を有することが望ましい。

以上